

「琴浦花菖蒲まつり」十周年を迎えて

鳥取県東伯郡琴浦町 山脇 信正

1 はじめに

「琴浦花菖蒲まつり」が六月十五日（十七日に開催された。早いもので今回十周年を迎えた。平成十年（一九九八年）三月、三十八年間の教職を定年退職して今後の生き方として何をしようかと考えていたときだった。

旧東伯町の当時の教育長、故徳本和正氏から「山脇さん、あなたが長年栽培しておられる花菖蒲と私が栽培している紫陽花の展示会を開催し、町の文化的行事として町民のみなさんに楽しんでいただいたらどうだろうか。」とお誘いを受けた。

旧東伯町では、かつて花菖蒲の栽培が盛んで、毎年六月に町主催の展示会が開催されていた。私は三十七年前その展示会を観賞して、花菖蒲の魅力にひかれ生涯の趣味として花菖蒲の栽培を続けるきっかけとなった。その展示会も高齢化により栽培者が減って開かれなくなつて久しかった。故徳本和正氏の町文化事業発展の熱意とその思いにうたれお引き受けした。

平成十年六月第一回「とうはく花菖蒲・紫陽花まつり」が開催された。出

展された鉢数、花菖蒲四十鉢余り紫陽花四十鉢の小規模な展示会であったが、参加者もますますの入りで好評を得た。年を重ねるごとに内容も充実して参観者も徐々に増え、今では町の六月の大きなイベントとして定着している。

今年は十周年という記念すべき年にあたり、展示された花菖蒲百二十品種二百鉢余り、品種、鉢数ともに過去最多の展示会となった。

一昨年お亡くなりになったと徳本和正氏の紫陽花が今回から見られなくなつたことがとても寂しく残念に思う。

2 「琴浦花菖蒲まつり」開催要項

(1) 目的

美しい花菖蒲を観賞することにより、生活に潤いを与え豊かな心を育てる。観賞をきっかけに、花づくりに関心を深め栽培の普及を図り琴浦町花いっぱい運動に繋げる。

(2) 内容

花菖蒲の鉢植えの展示、鉢数百五十鉢程度、展示期間中花菖蒲に関する質問、苗の注文にも対応する。

(3) 期間及び日程

毎年六月中旬の土曜、日曜日を含む三日間（観覧時間午前9時から午後5時迄）

(4) 会場

生涯学習センター「まなびタウンとうはく」4階 展示ホール

(5) 運営

会場の準備 展示会開始二日前に机・シート・受け皿等の配置搬出入作業 展示会前日、終了日翌日コナテナー車を使用し搬出入を行う。展示期間中 監視の実施、水やり、苗注文の受付、来場者の対応等

(6) 入場料 無料

(7) 関連事業 花菖蒲栽培講習会の実施と無料苗の配布。（七月及び九月に開催）

(8) 主催 琴浦町教育委員会



3 写真による展示会等の様子 写真① 展示会場



写真②

展示会場



写真③

展示会スタッフ



写真④

搬入作業



写真⑤

講習会の徳本氏



写真⑥

準備中の山脇氏



4 終わりに

今年、朝日新聞社等の主宰で東京上野の国立科学博物館で「花展」が三月二十四日～六月十七日まで開催された。日本花菖蒲協会も六月五日から十七日まで「花菖蒲展」に出展した。私も昨年来協会より出展協力依頼を受けて、それに向けての準備と併せて十周年を迎える町展示会の準備をしていたため、記念展示会に相応しいより充実した作品が展示できた。特に大きな目玉となったのは、昨年六月に日本花菖蒲協会理事長清水弘氏より栽培依頼を受け育て

ていた松平菖翁の名花「宇宙」が展示されたことである。（1鉢は国立科学博物館の展示会に出展）展示会の期間中には開花しなかったが、参観者の方々に大きな夢と話題を与えてくれた。展示会後、六月二十二日に「宇宙」が開花したことが地元のテレビ局で放映された。翌日、実物を見たいとわざわざ拙宅においていただける方が多数おられた。松平菖翁が「ああ、人力の造化に冥合せるか、遂に奇品出るに至れり」と語った花だけあり実に気品のある素晴らしい花である。私も花菖蒲を栽培して初めてお目にかかり大きな感動を覚えた。

この展示会は、琴浦町教育委員会の主催で開催され、職員の方々の搬入、搬出、期間中の管理等、全般に互っての協力のもとに成り立っている。

十周年を迎えることが出来たのは、町教育委員会の綿密な計画と職員の方々の全面的なご支援のお陰である。また、平成十四年より六年間この企画を担当しご指導、ご協力頂いた井谷真由美さんには深甚なる感謝を申し上げたい。

今後「琴浦花菖蒲まつり」が未永く続けられ、町民の方々に花菖蒲の愛好家が広まり明るい町作りに役立つことを願っている。私も故徳本和正氏の意志を継いで全面的に協力して行きたい。